

FLUX

42号

平成28年 3月31日 発行



通友会

FLUX 42号 電気通信工学科/電子通信工学科/情報ネットワーク工学科/情報通信工学科 通友会 機関紙 (発行4600部)

発行 平成28年 3月31日

編集 FLUX 編集委員会

編集委員長 金子 核

TEL. 070-5042-8326

E-mail:hkaneko@tcu.ac.jp

発行者 東京都市大学 通友会会長 大島 弘之

発行所 〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1

東京都市大学 通友会

印刷所 有限会社 アレックス TEL.03-6277-1517



町田えびね苑にて

[撮影 太田 郁夫 (S.40)]

ご挨拶

通友会 会長

大島 弘之 (S.40)



通友会会員の皆様、前号のFLUX紙上でご挨拶してから2年経過しましたが、いかがお過ごしでしょうか。

母校の校名も東京都市大学に変わって7年が経過し多少なりともなじんできたように感じられるのは気のせいでしょうか。同窓会も武蔵工業会から校友会として新発足し卒業生に対する諸々の事業、学生への援助支援、母校に対する協力の三つの大きな柱で活動してゆくことになると思われます。

この関係で校友会に対しても援助が行われ通友会のFLUX発行の費用が一部補助されることとなりました。このほか学生に対する講演会などの費用も援助が受けられると思われますので、今後内容を考慮しつつ進めてゆくことができます。

FLUXの発行も経費の目途が付き、スタッフが整えば従来通り毎年発行することができると思われます。

学生に対する奨励の意味で設けた通友会賞も平成26年は1名、27年は3名、28年は4名に授与しました。順調に推移しておりさらに内容を充実させてゆくのが良いでしょう。

学科との緊密な連絡をはかるため、学科主任はじめ先生方とは不定期ですが会食会を重ねてまいりました。今後も先生方とは連絡を密にし、さらに学生とも交流してゆくことが望まれます。就職のことやインターンシップなどもありますので卒業生の方々には遠慮なく来校され相談されることを望みます。

本年3月19日、卒業式に出席し20年会費をお支払いいただくよう説明してまいりました

が、普段から学生とのコミュニケーションをはかり前述のような努力をしておかないと会費の納入率を高めることはできないと感じます。

校友会組織の幹事会の幹事は当通友会からは5名の枠しかありません、今後幹事数を拡大し当会からの幹事が増員され校友会組織が充実するよう働きかけをしております。

本文別掲載のように年一度の総会が開催されます。皆様のご意見は総会もしくはお手紙などでいただくしかありません。どうか総会に出席されご意見をくださいますようお願い致します。

さて、私は平成22年の総会で会長に選任されましたが、2期6年が経過することとなります。通友会の方向も固まって来ました。そこで新しい役員さんに引き継ぎ活躍されることを期待し、会長を辞することにしました。6年間ありがとうございました。



写真は2016年3月19日の卒業式で、学科毎の学位授与式で、4名の卒業生に通友会賞として表彰状を渡している時のものです。

平成28年 通友会総会のご案内

平成28年の通友会総会を次のように開催しますので、会員の皆様には万障お繰り合わせの上ご出席いただきたくご案内いたします。

総会

日時：平成28年5月21日(土)
午後2時00分～3時00分

場所：東京都市大学 世田谷キャンパス内

議題：1.平成27年の報告と平成28年の計画
2.その他

講演会

演題：『Hewlett-PackardとBoseの2社から学んだ
グローバル経営とBoseデモンストレーション』

講演者：挽野 元 様 (株)ボーズ社・取締役社長
(通信科 H.2卒)

時間：午後3時00分～4時30分

懇親会

時間：午後5時00分～7時30分

会場：メモリアルホール (3号館 4階)

会費：5,000円

同封の葉書で5月6日(金)(必着)までに出席のご返事をお願いします。

目次

1. 会長ご挨拶	1	6. 田中兼良先生の御近況	12～14
2. 平成28年総会のご案内	2	7. 平成26年、平成27年通友会・総会報告	15
3. 情報通信工学科 主任教授挨拶	3	8. 会費納入及び寄付金のお願	16
4. 情報通信工学科 研究室紹介	4～5	9. 通友会賞の報告、校友会の近況	17
5. 通友会会員からのお便り	6～11	10. 会員交流回路・編集後記	18

主任教授の挨拶



情報通信工学科

佐和橋 衛

平成25年より、情報通信工学科の学科主任を務めています。旧電子通信工学科は、平成19年に、情報ネットワーク工学科と生体医工学科（現医用工学科）に分かれ、システム情報工学科から山本尚生教授、宇谷明秀教授に加わっていただき、情報ネットワーク工学科が設立されました。平成25年に、情報通信工学科に改称しています。本学科では、無線通信方式、コンピュータネットワーク、アンテナ、電子回路、大規模集積回路（LSI）など、「通信」の技術分野の基礎技術に関する教育、及び研究を行っています。通信技術者として必要な授業、演習・実験のカリキュラムは、他大学に引けをとらないレベルに充実していると思います。

本学科の学生定員数は、情報ネットワーク工学科設立時は55名でしたが、平成26年より60名に増員しています。

近年のスマートホンの急速な普及に伴い、最近では殆どの高校生が携帯電話、スマートホンを持っており、いつでも、どこでも、人とコミュニケーションを図ることが当たり前の時代になっています。高校生の時代から、欲しい情報をスマホからいつでも取得できる便利な環境に慣れてしまい、通信が、電気や水と同じように手に入ることに慣れている高校

生にとってこの学科はあまり魅力がないのかも知れません。また、最近の国内大手企業の半導体、携帯電話端末の分野における業績不振のニュースなども通信分野の学科の不人気に拍車をかけているかも知れません。

少子化の時代に突入し、本学においても本学科の受験者数は年々、減少しています。

今後は、外国人留学生などの受験者数の増大の活動を行なっていく予定です。

一方、通友会の皆様方のご協力により、学生の就職状況は好調な状況が継続しています。また、通友会の大島会長殿からのご提案により、学科学生への表彰手段の一つとして「通友会賞」を平成25年に設立しました。今年で3回目の表彰になり、「通友会賞」は、本学科の学生表彰として、学生など学内及び学外に深く定着しつつあります。学生の教育、及び出口である就職は、学科教員の力だけでは及びません。通友会の皆様方のご協力を引き続きお願い申し上げます。

私は若い頃、「息子が父親の死に目に会えず、電話で息子の声を聞いて微笑んで息を引き取る父親」のTVコマーシャルを見ました。私がこのコマーシャルを見て、「通信」が人に幸せを与える感動を、学生に教えて行きたいと思っています。

研究室紹介

通信システム・佐和橋研究室

通信システム・佐和橋研究室では、携帯電話に代表される移動通信の将来の無線方式の研究を行っています。現在、商用サービスを行っている携帯電話方式は、第3世代移動通信方式の符号分割多重アクセス（CDMA: Code Division Multiple Access）方式です。また、Long Term Evolution（LTE）と呼ばれる第4世代移動通信方式のサービスが2010年に導入され、LTEのユーザ端末が急速に普及し、数100メガビット毎秒のブロードバンドサービスが可能になっています。本研究室では、第4世代、及び2020年頃に第5世代移動通信方式の無線アクセス技術の研究を行っています。企業との共同研究で、企業から技術課題を頂いて、技術課題を解決する方法の検討、及び性能評価を、学生と共に行っています。

当研究室の特徴は、学外での学会発表を積極的に行っている点です。特に、論文審査が有る国際会議に主に大学院の学生を参加させています。学生にとっては、他大学の先生や企業の技術者・研究者の前で、自身の研究成果を発表することが大きな自信になっていると考えています。井の中の蛙にならず、学生の期間に、学外のプロの研究者・技術者に質問され、自身の技術力、英語力の未熟さを痛感して、一層

精進する姿勢を身につけさせたいと思います。

写真1は、昨年のIEEE VTS2014-Springにおける、修士課程2年の野口直希君の発表状況です。

写真2は、2014年3月に卒業した森千尋さんが、電子情報通信学会の2013年度無線通信システム（RCS）研究会活動奨励賞を受賞した時のものです。



写真1



写真2

集積化システム・傘研究室

集積化システム・傘研究室では、高精度アナログ集積回路、高性能アナログとデジタル混載信号処理技術やアナログ-デジタル変換技術、およびアナログ-デジタル混載LSI設計技術などの研究を進めています。通信ネットワ

ークを含む情報エレクトロニクス分野では、装置や機器の性能の鍵を握るアナログ電子回路技術に焦点を絞り、これらの分野の必須技術であるシステムLSIに関する研究を行っています。更にトランジスタ・レベルからシステム・レベ

会員だより



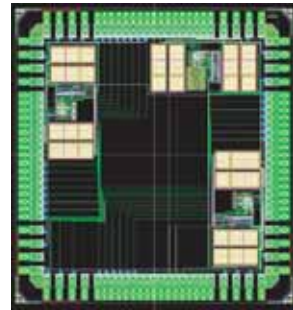
ルまで、アナログ回路からデジタル回路、組み込み回路までの集積回路の設計と解析に関する研究を行っています。

産学連携を積極的推進し、産業界との連携を深め、設計現場から生の研究課題をいただき、集積回路設計上生じた工学の実問題を理論的解明することを目標としています。理論解析や計算機によるシミュレーションだけでなく、実際のLSIチップの試作を行い、実験検証までの実用化の研究を行います。修士学生の全員にLSI設計と試作を経験させ、設計中から研究課題を発見し、問題解決の過程で成長しています。関連企業に学生のインターンシップを紹介し、

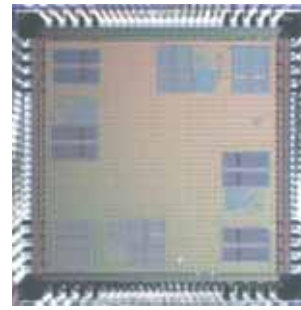
現場を経験させることも積極的に推奨しています。また、研究成果は学会発表だけでなく、特許出願も積極的に行っています。

半導体製造技術の発展に伴い、デバイスの微細化が進み、高精度アナログ回路設計が困難になってきている現在、回路素子バラツキや素子性能劣化を許容できる高精度設計の容易化の実現、開発期間短縮や開発リソース削減など開発効率の向上に向けて、半導体産業に少しでも貢献できるように、研究と学生の育成に努力しています。

なお、下記の写真は成果の一部です。



開発したADC回路のレイアウト設計図



開発したADC回路の顕微鏡写真



研究室で開発したADC回路のLSIチップと評価基板



集積回路性能評価用測定機器

会員の皆様は、如何お過ごしでしょうか。

会員相互の交流を活性化する目的で、会員の皆様の主張、言いたいこと、聞いてほしいこと、活動状況、近況などを掲載するコーナーです。

今回は返信はがきに記載されていた記事を中心にまとめてみました。

岸 孝司 (S.23)

三松君がなくなり、わが二通会(二期生の会)も、自然消滅で、淋しくなりました。年月を感じるこの頃です。通友会の盛会を祈ります。以上

金子 哲也 (S.23)

卒業してから61年も経ち、私も傘寿を(3年も)超えて体力の衰えを感じる此の頃です。歩行に不自由の毎日ですが、年なりに過ごしています。遠出が出来ないので、本会を残念ながら欠席としましたが、盛会を祈っています。同期の小西教授、井出教授も他界されましたが、FLUX号に片岡さんの近況が載っていて、昔を思い出しています。出席の皆様には宜しく。

小関 義一 (S.24)

元気で市シルバー人材センターで筆耕の仕事をしております。

野上 盛茂 (S.32)

2013年6月頃より家内が体調を悪くして一日の殆どをベッド生活となり、家事一切を私が処理するようになりました。現在は買物に一時程度家内を一人にして出掛けるという生活です。従って長時間彼女の側を離れることは不可能です。介護の大変さを改めて感じています。皆様のご健勝をお祈りします。

時岡 廣行 (S.34)

E-mail: tokioco@aol.com

ここのところ業界(コンピュータ、ネットワーク、情報通信分野)でトピックス的な改新的な技術、製品が出現していないように思われます。世界を沸騰させる様な画期的技術または製品(STAP細胞ではありません)が近くに出現することを切に希望しています。

吉田 弘昭 (S.34)

この5月で全ての仕事をやめる予定です。

細川 湊 (S.34)

心筋梗塞を2度発病して以来、外出困難となりました。欠席させていただきます。

長須賀 元 (S.35)

お世話になっております。ご無沙汰ばかりで申し訳ありません。シルバー人材センターの仕事、広めの家庭菜園、ゴルフ等、平凡に暮らしています。腰痛はありますが元気です。皆様のご多幸・健康をお祈り申し上げます。



下鉢 登 (S.36)
糖尿病で治療中です。

佐藤 昭七 (S.36)

E-mail : 2sato407@lilac.palala.or.jp

年齢相応ですが元気です。地域の会合と重なり出席かなわず。盛会を祈ります。

金子 郁夫 (S.37)

平成17年3月31日、67才で通信科を定年退職して11年経過しました。退職と同時に4月1日からセラミックス製造会社に研究所長として迎えられ、仕事を離れる迄の殆どの一生を無趣味の状況で過ごして来ました。61才からの10年間はエレクトロニクス関係の学会に理事として携わって来ましたが、引き続いて依頼された学会誌の論文査読委員を思い切ってお断りして、漸くの思いで71才の4月から自由の身となりました。

と思っていたところ、2ヶ月後くらいに市のシルバーセンターの講習会の抽選に当選したと連絡がきました。このまま何もしないのではボケるだろうと心配した家内が、指を動かしていればボケ予防になると思い、知らぬ間に抽選に参加させられていたのです。

それに従って水彩画の講習会に参加したら何時の間にか趣味となり、年2回位の市のギャラリーに参加して楽しむことが出来るようになって来ました。風景・静物・人物と一通りの画題を輪番に練習することが講師の指導方針であり、月2回の訓練、約17名の多様なメンバーでそのまま5年以上続いています。



添木 昭 (S.37)

卒業後50年を越えましたが、何とか元気で過ごしております。母校の発展を祈っています。

若林 繁三 (S.38)

E-mail : sige83@nifty.com

99才寝たきりの母親の介護がヤット終わり多趣味その他で忙しい毎日です。内容はブログ「ホームズA」を見て下さい。

東島 勝 (S.38)

年齢には勝てず！！

青山 勉彦 (S.38)

ナントカ元気にしています。



牧島 亜紀雄 (S.39)

E-mail : a-mackey@jcom.zAq.ne.jp

鉄道信号関係の教育、本の執筆等をやっています。

中澤 和海 (S.39)

E-mail : nakazawa1202@ybb.ne.jp

市のボランティア、児童見守り隊、文化体操、防犯教室、毎日いそがしくやっています。又中部大学聴講生ですので、教養中の電気磁気学、応用数学、ベクトル解析やってみました。50年前後はたってますね。Home coming dayには出席しようと思っています。



古川 隆平 (S.39)

E-mail : f_ryuhei@yahoo.co.jp

退職後、年金生活で、4年前から晴耕雨読、週イチのGolf、今のところまあまあ元気。

安部 實 (S.40)

E-mail : minr-abe@oct-net.ne.jp

電子通信工学科を定年退職して早くも7年が、また郷里(大分市)に帰って6年が経ちました。現在週2回のテニスと月1~2回の山登りで元気に過ごしています。大分県内では特徴ある山100山が選定されていて、これまでに67の山に登りました。

これから2年間で100山に登り切ろうと思っています。



吉岡 稔 (S.40)

サンデー毎日でスポーツ(テニス、卓球)で身体を保っています。

橋川 素明 (S.40)

林業・農業をやっています。大島・千葉さんへ(S.40卒)以前、自由が丘で夜遅くまでありがとうございました。

鈴木 義弘 (S.40)

E-mail : ysuzuki@mvh.biglobe.ne.jp

6/9からのワールドカップ観戦のため渡伯。アルバイト、パート、老人クラブ等

久保田 昌司 (S.40)

身体が不調です。

鈴木 信行 (S.40)

元気で生きています！！

太田 勝一 (S.41)

E-mail : ohtakatsu@mpd.biglobe.ne.jp

昨年古稀を向かえました。自由人を満喫しています。国際電気(現日立国際電気)OB会の世話役をやっています。学生時代からやっているテニスは、今も楽しむ程度やっています。皆様によろしく。

岡澤 俊憲 (S.41)

いつもご連絡感謝しております。先日大学祭の折、学校へ行きましたが立派になっているので驚きました。会費だけは真面目に納入しております。

山本 雅俊 (S.41)

E-mail : masatosi@sw.catv.ne.jp

私の所属している一般社団法人霞会館へボランティアで週3~4回かよっています。拡大写本模写をしています。

佐藤 三郎 (S.41)

E-mail : s.sato@oregano.ocn.ne.jp

今年3月退職しました。小生、終身会費納付しているでしょうか？適当な時e-mailで知らせてください。お願いします。

田中 稔 (S.41)

元気でおりますけど、欠席させていただきます。

亀川 邦彦 (S.42)

昨年、上記の住所へ引っ越しました。同じ団地内での移動です。電話番号は同じです。よろしくお願い致します。

木戸口 俊夫 (S.43)

E-mail : 2kido@kidoguchi.jp

NPO・会社法人設立、会社法務・会社記帳業務をやっています。

小原 慎一郎 (S.43)

E-mail : oharaf@nifty.com 小原MSC事務所

まだ半現役で気を出して前向きに
はげんでいます。

・ゴルフ、カラオケ
・審査；ISO関連



石井 寛 (S.43)

E-mail : YISHII@mte.biglobe.ne.jp

はずせない先約があり欠席致します。

小山 公雄 (S.44)

お世話になります。町会ボランティアetc.で体を動かしています。

湯川 建夫 (S.44)

E-mail : tko-ykw-nantei@gol.com

無職4年目、年金暮らし満喫中。

平井 景三 (S.46)

E-mail : hirai_k3@leto.eonet.ne.jp

校友会兵庫支部の事務局及びMTC会(近畿地区コンペの会)に世話役を担当しております。通友会総会の盛況をお祈りします。皆様に宜しくお伝え下さい。

伊藤 清 (S.43)

E-mail : k-itoh@v04.itscom.net アルテック

今年の6月で定年を向かえ、後2年は囁託で働きませんがその後はハワイに定住します。

西原 裕之 (S.46)

何かと失敬しており、お手数掛けます。

櫻井 隆志 (S.47)

E-mail : sakurait@sutr.zag.ne.jp

おかげさまで、無事やっております。会の成功をお祈り致します。

稲見 やよい (S.48)

年金生活に入りました。仕事もしていませんし、夫にもFLUXが送付されますので、私の分は送付していただかなくてもよろしいです。

小高 博信 (S.49)

E-mail : hironobu.kodaka@jcom.home.ne.jp

住所変更になりました。

島村 正彦 (S.50)

E-mail : masa.shimamura@me.com 080-4365

計測器工業会(JEMIMA)において、パワーエレ、スマートグリッド関係の標準化を進めています。

渋谷 丈夫 (S.50)

H26/3月末日に退職し、無職となりました。年金生活を満喫しています。



染谷 郁男 (S.51)

E-mail : someya.ikuo.smyiko@smile.email.ne.jp

ソニーを定年退職しました。返信が遅くなってしまい申し訳ありません。退職したらやりたいと思っていた事はたくさんあるのですが、現在は家のためこんだ物を片付けております。研究室のころの資料もたくさん出てきてなつかしく思い出しています。

館 裕 (S.52)

お世話になります。住所の表示ですが、上記に示すように「たまプラーザ4-1棟202号室」は必要ありません。

苅谷 一郎 (S.54)

元気に頑張っております。昨年6月より取締役となりました。

原尾 敦 (S.55)

59才になりました。

廣瀬 清美 (S.56)

E-mail : k-hirose1@ti.com

日本テキサスインスツルメンツ(株)

昨今、東京駅や東京ディズニーランドの壁面に投写するプロジェクションマッピングが話題になっていますが、デジタル投影機の中で使用されている光学デバイス(デジタルミラーデバイス)を製造しています。3Dに期待して下さい。

池田 晃 (S.57)

いつも欠席で済みません。

渋谷 政広 (S.58)

E-mail : m.shibuya@tea.ocn.ne.jp

全日本空輸(株)

郵便物の住所が「エクセレントビュー元住吉」という旧住所のマンション名まで入っていますので、上記に訂正願います。

伊藤 浩信 (H.3)

出身小学校の今年の入学者数が、たったの4人と知り、このままでは近い内に廃校になるのではないかと愕然としております。いくら少子化の時代とはいえ、都会のど真ん中の小学校の児童数が、ここまで激減するとは誰が予想し得たでしょうか？嘆かわしい限りです。



工藤 清光 (H.4)

キヤノンでインクジェットの開発をしています。

齊藤 茂 (H.4)

E-mail : 4gel3110@gmail.com

最近は開発が忙しく、なかなか大学の行事に参加することができません。

石本 雅彦 (H.5)

時が経つのは早いもので、今年で卒業して23年もたってしまいました。

在学当時、宮内先生の情報通信研究室のゼミで画像認識のプログラムや実験などの研究を日夜辛くも楽しく行っていたことが思い出されます。

今はJR横浜線鴨井駅近くのパナソニックで携帯電話、スマートホン等の高周波回路の開発設計を日夜頑張っています。

休日は家族4人、妻と2人の娘(この春で中学1年生、小学2年生)とキャンプやカヌーをしに行ったり、同僚などおやし仲間とバイクツーリングに行ったり、まあ何とか仕事や諸々のストレスを発散しながら楽しんでます。

今後も学校関係者のみなさま、先生方、OBのみなさまの活躍とご健康をお祈りいたします。

特別寄稿

田中 兼義先生 97歳の誕生祝

佐藤 光司 (S.38)

長井 寛志 (H.5 修 H.7)
ネコと遊ぶのが楽しいです。

中川 健一 (H.22)
E-mail : nakagawa_kenichi_2010@yahoo.co.jp
がんばっています。

赤津 直 (H.9)
E-mail : tadashi.akatsu@nifty.ne.jp

松下 敦 (H.25)
お陰様で、元気に仕事に励んでおります。

ソニー(株)より出向をし、社内のCADシステムの導入、保守を行っております。

皆さまからいただいた住所変更其他のご要望につきましては、
次号の発行までに修正させていただきます。 編集部

同期会
連絡

昭和41年通信卒集まれ

10月30日 クラス会 開催予定

鈴木 威一 (S.41)

我々41年卒業の同期生は若くても現在72歳です。そして、今年は武蔵工大卒業丁度50年です。この節目の今年、みんなで集まろうではありませんか。この先みんなで集まることは容易とは思えません。ぜひ今年、皆で会いましょう。

直近では今回の通友会総会は集まる良い機会ですが、大勢集まるためには準備期間が足りません。そこで、次のように今秋母校で行われる「ホームカミングデー」の当日、催しが終了後、「41通卒クラス会」を開催したらどうか考えています。

「ホームカミングデー」は、東京都市大学が毎年卒業10年後ごとの人々を招待して行っている行事で、開催式典(学長、校友会長や学生代表の挨拶、大学の現況報告など)、学内の研究室公開などがあり、その後、立食式の懇親会が行われます。我々41年卒は丁度50年目なので無料招待です。今年は10月30日(日)の午後開催予定と聞いています。

5時頃には懇親会が終わるので5時半ごろから「41通卒クラス会」を開催したいと思います。2~3時間皆さんで近況を語り合ひましょう。

会場、会費などは、参加人数が決まってから決めますが、なるべく安くあげたいと思います。参加希望の方は以下の暫定幹事まで8月末までにご連絡ください。正式な出欠の確認は、初秋にハガキで行う予定です。連絡いただいた方には必ず通知いたします。

連絡先(41通卒クラス会暫定幹事); 電話番号、E-メールアドレスです。

- 1. 鈴木 威一 03 - 3712 - 9739 t.suzuki@executive-consulting-j.com
- 2. 辻 修 045 - 371 - 0751 tsuji-o@yeldk.co.jp
- 3. 増澤 信義 03 - 3721 - 9870 nob3masu@yahoo.co.jp



卒業50年の同窓会(H26.11.24)において「お元気なら先生を招いて同窓会をしたい」との要望があり、また、FLUX41号(平成26年3月31日発行)に掲載された『田中先生宅訪問』の記事を見た増岡高充君(S39)がH26年の通友会総会に田中先生が書かれた『雑草』という冊子を持参してくれました。「これは先輩が持っていた方がいい」と彼が言ってくれましたので私がもらいました。これは現在、MS-Wordファイルでデジタル化して保存してあります。

その後、通友会会長の大島弘之君(S40)と田中先生を訪問しFLUX41号での状況からの変化を見に伺いました。先生の状況はだいぶ良くなっておられたので、97歳の誕生日(H27.6.27)に同窓会を開催することに致しました。

同窓会当日、先生はご自宅から会場の土風炉・自由が丘店まで、自力で元気に歩いてこられました。

先生のご挨拶を頂いて、皆で盃を持ち、先生には赤い盃を持って頂き、97歳のお祝いをしました。その後、自由に各自挨拶をし、

余った時間は個人的に話し合うことができたと思われま。先生にはお祝いとして金一封をお渡ししました。みんなの意見では「田中先生がお元気なら99歳も100歳も祝いたい」と言っていました。また、通信38年卒として通信関係の仕事で貢献した学生(人)に対する表彰も規則を作ってもらえれば考えるとの意見も出ました。

最後に、田中先生からのお返しとして、蜂の屋の和菓子である“くるーね甘夏”を頂きました。

この活動を通して、通友会会長の大島弘之君(S40)からFLUX8号(昭和37年2月発行)に私の記事があると教えてくれました。

私には記憶がありませんでしたが記事を見てみたら、大学3年の時に「全学祭展示会報告」という記事を書いていました。その時の学長は山田良之助先生でした。また、この時はFLUXをOB会のFLUXと考えていませんでした。

更に、FLUX 23号(平成5年発行・田中先生退職記念号)に、私がかつて所属していた会社の同僚として働いていた小銭正尚さん(S35)の記事が目につきました。

記事の中で彼は『平成2年6月のこと、出不精の私が、仕事上の同僚である佐藤光司さん(S38)に誘われて、久しぶりに武蔵工業会に初めて出席した折、大変久しぶりに

田中先生にお会いし、先生の「やぁ小銭君、どうだ元気でやっているか」と親しみのある暖かいお言葉は、「卒業以来の年月を忘れさせるほどうれしく心にしみました。」と記していました。これが先生の卒業生に対する姿勢でしょう。

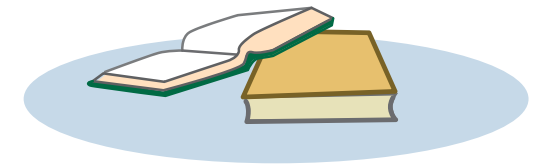
このようにFLUXは現役とOBの交流の記録であり大切なものであることを痛感した次第であります。

現在の田中先生

金子 核(H.5 修 H.7)

前号を踏襲したという訳ではありませんが、佐藤光司先輩(S38)が田中先生宅を訪問するとのことで、2月23日、編集担当として取材も兼ねて挨拶に伺いました。ご自宅が自由が丘駅より徒歩数分の所なので、時折卒業生が訪問されているそうで、佐藤先輩もそのうちの一人とのことです。私は平成元年入学であり、田中先生との関係は電磁気計測関係の授業を受講したに過ぎず、従って平成以後の入学者で訪問した卒業生は殆どいないのではないかと思われますが、ご家族とともに温かくお迎えいただきました。佐藤先輩より和やかに話が始まり「6月の誕生会当時より更に目が輝いている」とのご様子でした。これに対し先生は「そこ(東横線の鉄道用電線)からのMagnetic FLUXの効果が現れているのではないかと、このFLUXにかけた一言をおっしゃったり、その他、様々な写真を見ながら「この装置は欲しかった」など、現役当時やその後のお話を伺うことができました。

更に「小西君は・・・、井出君は・・・」等、私が在学時には電子通信工学科の主任教授達も先生にとっては後輩であり、その様なことも懐かしげにお話されておりました。また、先生が入院当時に書き記したことをご家族の方が編纂した『リハビリのための回想日記』という本を紹介していただきました。



100才に近付いてもなお頭・体を動かし前向きに生活されており、電気(電子)通信工学科の生き証人であらせられる田中先生とお話できたことは私にとって大変ありがたいひと時でした。



この写真は、昭和40年卒の加藤亨君が平成26年の文化の日に端室中綬章を受けられ、田中研究室の同期生が自由が丘でお祝いの席の出席者写真です。その席に田中先生も出席されて、元気なお言葉で挨拶を頂きました。

平成26年、27年 通友会総会・懇親会報告

1. 平成26年の通友会総会について

平成26年の通友会総会は平成26年6月7日(土)に学内で行われました。

2:00PMより直ちに総会が開催され、審議内容は、平成25年事業報告、収支決算報告、会計監査報告、続いて平成26年事業計画案、予算計画案、役員および各期幹事、指名幹事の選出を審議の後、いずれも原案通り承認または可決されました。

その後本年より新たに創設された通友会賞の受賞式が行われ、学部4年生の森拓也君が最初の受賞者となりました。

引き続き例年の講演会に代わり今年は旧電子通信工学科の分身である“情報通信工学科”並びに“医用工学科”の見学会が行われました。両学科の実験室等の見学を通して最新の学科の状況を出席の学科OBに肌で感じていただきました。

見学会後の懇親会は、場所を1号館4Fのレストラン オークに移し、大島弘之会長の開会の挨拶の後、ご来賓として松下正勝・校友会会長並びに九田一久機・親会会長の挨拶で始まりまして。なお、本年は山本尚生・知識工学部長及び佐和橋衛・情報通信工学科主任教授の挨拶等も途中に盛り込みながら進行し和やかなうちにお開きとなりました。 秋谷(S.46)記

2. 平成27年の通友会総会について

平成27年の通友会総会・講演会は、平成27年5月30日(土)に、東京都市大学の1号館13P教室において開催されました。総会では前年、本年の活動報告並びに決算・予算案、役員・各期幹事選出の議題が審議され、全て承認されました。又、昨年制定され本年は3名の通友会賞の報告があった後に、大島会長と、佐藤光司監事が自宅訪問されて、現在も益々お元気な“田中 兼義”先生の近況ビデオ映像が紹介されました。引き続き同じ場所で講演会が行われました。昨年瑞室中綬章を受賞された元防衛庁技術研究本部 加藤 亨様(通信S40年卒)により「世界の中の日本の通信技術」というタイトルで行われました。懇親会は1号館4Fのラウンジ オークに場所を移し、大島弘之会長の開会の挨拶の後、ご来賓として吉田 勝・校友会副会長並びに電友会・石田 彌会長の挨拶で始まりまして。なお、本年は懇親会の途中より参加された宮内 新、山本尚生・元知識工学部長並びに新任の田口 亮・知識工学部長それに情報通信工学科では佐和橋 衛・主任教授、及び柴田 随道・新任教授の挨拶も途中に盛り込みながら進行し、なごりを惜しみつつお開きとなりました。 秋谷(S.46)記



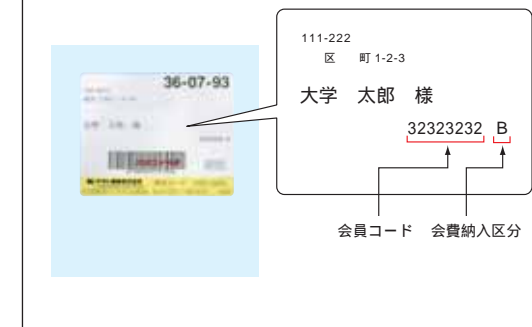
会費(20年・終身)納入、及び寄付金のお願い

本年の終身会費は、1995、1996年(平成7、8年)卒業の方が対象となります。対象の方は本号に同封の払込票で、平成28年6月末までにA)終身会費(1万円)をご送金頂きたくお願い致します。また、卒業時に納入するB)20年会費(5千円)ならびに、過去の終身会費未納入の方、すなわち、C)終身会費(1万円)『1994年(平成6年)以前に卒業された方』も対象となります。

これらの方々にも同じ払込用紙を同封しますので、至急払込みをお願い致します。また既に払込済みの方にも同様な払込用紙を同封しておりますが事務手続きの簡素化のためです。何卒ご容赦下さい。もし、ご自分で過去に払込みの確認ができない場合には配送された封筒のラベルをご覧ください。

ラベルの氏名欄の右下に数字列があり、その後方にA、B、Cの区分が印字されていますので、これに該当される方は払込みをお願いします。

【会員コードと会費納入区分の印字例】



なお、大変心苦しい事ですが運営資金維持のために、会費未納の方には今後のFLUXの送付を中止させていただく予定です。本年は何卒納入されるようご協力お願いいたします。

更に本年も通友会に対する寄付金を募集します。最低1,000円より上限額は定めません。既に通友会費を払込済みの方でご寄付を頂ける方、

今回会費を払込みいただくと同時にご寄付いただける方は払込用紙の通信欄D)のボックスにチェックを入れ、会員コード、住所、氏名、寄付金額をご記入の上、郵便局にて払込みいただけますと今後の通友会運営に於いて大変有難いと存じます。この度は7万円を超える金額が集まりました。寄付を頂いた方のお名前と卒年を下記に示します。有難うございました。なお、封筒ラベルの見かたについては下記に示す色刷りの「会費納入区分の見方」が封入されているのでご参照ください。

【会費納入区分の説明チラシ】



通友会・寄付者 ご氏名・卒年

氏名	卒年	氏名	卒年
片岡 徳昌	S.28	岡澤 俊憲	S.41
西岡 巖	S.33	大池 修	S.45
細川 湊	S.34	原田 高峰	S.47
田中 征夫	S.34	原口 兼正	S.49
長須賀 元	S.35	島村 正彦	S.50
橋田 文也	S.35	渡辺 博之	H.11
増岡 高充	S.39	渡邊 陽介	H.15
大島 弘之	S.40	中川 健一	H.22



通友会賞 受賞者

平成26年：森 拓也 君
 平成27年：関口 高穂 君
 間山 京将 君
 福井 隆太 君

平成28年：小和田 啓 君
 中村 啓太 君
 中村 哲也 君
 和田 章俊 君

校友会の近況

原口 兼正 (S.49)

通友会の校友会担当として、校友会の近況を報告します。昨年3月より準備会を発足し、6月の総会から正式にスタートした吉田会長の新体制は、各委員会、部会等を積極的に開催し活発に議論を重ねております。恒例行事の実施と並行して、校友会のあり方を深く追求するために、学科同窓会の方を交えて、土曜日に時間を割いて何回かのグループディスカッションとそのまとめ会議を行いました。我々が大島会長は、企画委員、学科同窓会等大先輩の立場で議論の進展と纏めにご尽力頂きました。その結果を踏まえ、常任幹事会、幹事会、総会の役割を再定義して目下規約改定の準備を急いでおります。また、従来の学生支援は、大学の事業に金銭の寄付で協賛しておりましたが、校友会自ら

の事業として学生の就職支援イベントを企画しております。学生支援部会長として、通友会の鈴木威一氏を中心に進めていますが、この企画は卒業生の勤務する職場と学生を結びつけるイベントなので、学科同窓会の絶大な協力が不可欠であり、皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。



平成28年 東京都市大学 校友会 総会のお知らせ

*日 時：平成28年 6月18日(土) 午後1時より

*場 所：東京都市大学 世田谷キャンパス

*懇親会：同上

詳細はホームページをご覧ください。



会員交流回路

次の方々が鬼籍に入られました。

謹んでご冥福をお祈りします (合掌)

高田 次郎 (S.23)	平成25年03月04日	下鉢 登 (S.36)	平成27年04月18日
矢島 昭男 (S.24)	ご逝去年月日不明	広瀬 一雄 (S.37)	平成25年02月19日
岡田 邦武 (S.25)	ご逝去年月日不明	安田 智雄 (S.37)	平成23年08月
今井 一男 (S.28)	ご逝去年月日不明	秋吉 慎吾 (S.38)	平成24年10月13日
堀 圭一 (S.28)	平成23年10月23日	赤沼 経議 (S.38)	平成25年10月19日
加藤 千武 (S.33)	平成22年 月日不明	関本 欽也 (S.38)	平成20年08月19日
足立 一夫 (S.34)	平成24年08月	早川 史郎 (S.38)	平成26年11月19日
中村 利信 (S.34)	平成26年 夏	滝田 納言 (S.48)	平成20年03月20日
小銭 正尚 (S.35)	平成21年06月21日	山本 良二 (S.48)	ご逝去年月日不明
石橋 延幸 (S.36)	平成24年 月日不明	小松 洋二 (H.09)	平成22年 月日不明



編集後記

今回は記念号ではありませんので特集記事に頼ることができない、というところから構成を考え始めました。前号同様、会員だよりを充実させることは勿論、どのような記事があれば会員の皆様楽しんでいただき、様々な方面の現状をお知りおきいただけるかを考えて編集致しました。そして、情報通信工学科の先生方のご協力により、現在の研究記事を掲載することができ、大変感謝しております。冊子の編集という不慣れな役割に戸惑ってはありましたが、学生時代同様、今までFLUX編集担当をされていた先生方のご指導の下、発刊することができました。ご指導・ご協力いただいた皆様に感謝致します。

私は現在、共通教育部物理学教育部門で1年生の実験授業を担当しており、非常勤ではありますが生え抜きの教員として学生教育(電子通信工学科や情報通信工学科を担当した年もあります)や通友会に対しても微力ながら貢献し続ける様努力して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。
 (金子H.5、修H.7)